

発行：港区議会議員 阿部 浩子
住所：港区麻布十番 2-4-1-201

TEL/FAX：070-9103-6477 E-mail：abehiroko7@gmail.com
URL：http://www.hiroko-abe.com

港区議会議員(立憲民主党) ひまわり通信

あ べ ひろ こ

阿部浩子

命と暮らしを最優先!!



令和7年第1回港区議会定例会 (2月19日～3月21日)

令和7年度予算総額2,386億2,938万円を可決

一般会計は2,043億2,000万円、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の3特別会計をあわせた港区の令和7年度予算の全体額は2,560億2,980万円。

令和7年度は、4つの重点施策を実現するための予算とされました。

- 子どもたちが健やかに成長できるしあわせな都市を実現する施策
- 誰もが自分らしく、心身ともに元気に生活ができる都市を実現する施策
- 区民が安心して、いつまでも暮らし続けられる都市を実現する施策
- 地域に活気があり、にぎわいが広がる都市を実現する施策

学用品の無償化、学童クラブ等利用児童へのおやつが無償提供、高校生の居場所づくり、介護ロボット等導入支援事業、災害時における衛星通信環境の整備、ふるさと納税シティプロモーション活用事業などが計上されました。

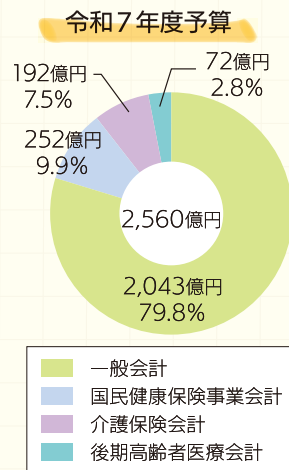
歳入の根幹である特別区民税収入は987億円で過去最高額の計上。

清家新区長の予算案に賛成

昨年6月に区長に就任した清家愛区長は、区議会議員として9年間、阿部浩子と共に「みなと政策会議」で活動した仲間です。

清家区長の女性の視点、子育てをする母の視点、また、今まで阿部浩子が提案してきたことが予算に盛り込まれています。

令和7年度も清家区長と共に、より良い港区をつくっていきます。



港区の基金残高は、2,113.8億円(1月末月現在)で過去最高額です



阿部 浩子



阿部浩子の議会報告



令和7年第1回定例会で区長・教育長に質問しました



■清家新区長の予算編成に対する思いとは■

質問：初の2000億円越え、最大規模の予算についてどう考えて決断したのか。

答弁：区民ニーズを踏まえた事業を積極的に予算化し、全ての区民が未来に希望を持ち、日々安心して生活できるようあらゆる分野に予算配分をした。財源は過去最高額となる特別区民税を最大限活用し、基金の繰入は7億円で留め、持続可能で将来に過度な負担をかけない視点で予算案を編成。

質問：予算編成にあたって、区長の一番の思いは。

答弁：4つの重点施策に思いを込めている。

※裏面に掲載

■戦後80年・港区平和都市宣言40周年事業について■

質問：清家区長の平和に対する思いとは。

答弁：戦争の記憶の風化を防ぎ、幅広い世代やこれから生まれる次世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくことが区の重要な使命。今年8月に広島の平和記念式典に参列予定。(←昨年の議会で阿部浩子が区長に提案しました。)

港区の多くが被害にあった5月25日を「港区平和の日」にしたい。

表参道のみずほ銀行前に記念碑「和をのぞむ」が建てられています。平成19年1月、区政60周年記念事業実行委員会が建立。

焼夷弾の跡、犠牲者の脂がしみ込んでいる石灯籠、表参道のけやきも戦争の生き証人として今も残っています。



■元麻布3丁目複合施設整備について■

質問：港区には弓道場が、スポーツセンターと旧芝離宮にもある。何故この場所に必要なのか。

答弁：愛宕弓道場を廃止して以降、区立弓道場の設置可能場所を探してきた。この場所は、東西に約70mある敷地形状で、弓道場に必要の広さを確保できる。

質問：この施設は地域が必要としている災害時に有効となる場所にすべきである。

答弁：整備計画に、防災備蓄倉庫やマンホールトイレの設置、災害時に区民が屋外で集まれる場所の整備などを詳細に検討し、災害時に有効活用できる施設としていく。



旧麻布保育園・福祉会館の跡地は、保育園が移転し、建物の完成まで25年の年月になる。区の計画は、弓道場、多目的スペース、重度心身障害者グループホーム、災害対策住宅、屋上菜園。弓道場は単独ではなく、矢道を工夫し、地域住民も利用できる場所にしてほしい。



質問：元麻布3丁目の区有地は空き地になっている。ここを地域の方々が利用できる場所、協働スペースなど、暫定活用すべきである。

答弁：約200㎡を空き地として区が維持管理している。本敷地が抱える課題は、土砂災害警戒区域にあり、建物配置や構造等の規制、用途や日影による規制等である。課題に対応し、幅広い視点から活用を検討していく。

■(仮称)ODAIBAファウンテンについて■

質問：東京都は来年度、お台場海浜公園沖の会場に、音楽とライトアップされた噴水を演出する「ODAIBAファウンテン」の予算を計上。整備費26.4億円で経済波及効果約98億円を見込んでいる。台場の住環境を守る観点から、区の考えは。

答弁：地域住民の理解が得られるよう、東京都港湾局に丁寧な説明を要望していく。



■子育て応援商品券の給付について■

質問：来年度予算には、2年続いた子育て応援商品券の予算が未計上。子育て世帯の支援と商店街振興のためにも給付をすべきと考える。

答弁：来年度は、保護者の経済的な負担軽減のため、学用品無償化や学童クラブ等のおやつのお費負担を実施。商品券事業は、7月に「港区電子スマイル商品券アプリ」の機能拡充を踏まえ、今後の実施方法や総合的な施策効果を考慮し、検討していく。



■窓口手数料免除の継続を■

質問：コロナ禍から続いていた各種証明書の手数料免除が3月末で終了。来年度は1億円の手数料収入となる。物価高で経済的に厳しい中、窓口手数料免除を継続すべきである。

答弁：コンビニ交付サービス利用が進まず、窓口が混雑している。手数料の免除を終了し、コンビニ交付サービスを10円とし、来年度総合支所等にマルチコピー機の設置を進め、時間的・経済的な負担を軽減する。

■災害時のトイレは利用しやすいものに■

質問：携帯トイレが配布されたが、それ以外にトイレトラックを整備し、災害時も平常時同様の環境で清潔なトイレを。トイレトラックは、区や地域

のイベントなどで利用できるようにすべきです。

答弁：区民避難所や区立公園にマンホールトイレを整備している。トイレトラックには様々な課題がある。近隣区の自治体に運用実績をヒアリングし、課題解決に向けて、詳細な情報収集や調査研究を行っていく。

■動物愛護について■

質問：動物愛護に対する区長の思いとは。

答弁：動物の命についてもその尊厳を守ることが基本と考えている。動物福祉の観点も重要。ペットや地域で暮らす猫など、動物にとってよりよい環境を提供し、地域で暮らす人と動物が共生できる環境を整備することが区の役割。区はこれまで以上に動物愛護と動物福祉の観点を重視し、飼い主が安心してペットを飼育できる環境の整備に努めていく。



今まで要望していた、獣医師資格をもつ動物政策監が来年度から保健所に配置される。

ペット相談や職員指導育成、ペット防災、ドッグランの新規運営の助言など、専門的見地で港区の動物行政をけん引する役割となることに期待。来年度予算で区民避難所におけるペットの受け入れ体制整備が盛り込まれた。新広尾公園のドッグランも本格的整備に。

■不登校児童生徒の支援について■

質問：2022年度の東京都の不登校児童生徒数は26,912人で5年前の2倍になっている。港区は4月から不登校特例校である学びの多様化学校「みなとスクール」を開設。不登校は早い段階からの気づきが必要。不登校から引きこもりになってしまうケースだけは避け、社会とつながっていく必要がある。不登校児童生徒が増加している中で、より一人ひとりのニーズにあった支援とはなにか。

答弁：各学校では、一人ひとりの不登校を把握できるシートを活用し、定期的な家庭訪問や学習の補助など寄り添った支援を行っている。一人ひとりのニーズにあわせた学習環境や居場所を保護者に提案している。



昭和20年5月25日、空襲警報発令22時22分に港区で山の手空襲がおきました。死者3600余人、罹災者は約56万人、焼失16万6千戸。

—— 予算特別委員会質問 ——

【総務費】

- 港区版ふるさと納税制度の団体応援寄付金をより寄付者と寄付先が利用しやすい制度に。
- 戦後80年・港区平和都市宣言40周年事業で、山の手空襲の日を「港区平和の日」に。
- 応募が減少している公務員の魅力向上を。
- 選択的夫婦別姓制度が導入されるまで、事実婚の支援を。

【環境清掃費】

- きれいなまち港区の実現を！
観光客へのおもてなし、まちの美観、環境衛生の観点からも六本木交差点周辺をモデル地区に。

【民生費】

- 子育て応援商品券は来年度も給付を。
- ひとり親サポート事業は食品だけではなく、日用品にも拡大を。
- 精神障害者の方々へ支援の拡大を。

【教育費】

- 希望者が多い海外派遣事業の充実を。
- 奨学資金の周知とより利用しやすい制度に。
- 学校給食の食材高騰に対応できる支援とよりおいしい給食を。
- 中学校の夏季学園は平和の施設や日本の歴史や伝統文化を学べるところへ。
 - 老朽化しているみなと図書館の改築計画を策定すべき。
 - 中学校で部活動をしている子どもたちに栄養補給を。



あべひろこ プロフィール



- 1968年生、秋田県秋田市出身。麻布十番在住
- 立憲民主党所属、港区議会元副議長
- 2003年初当選 現在6期22年
- NPO法人みなと子ども食堂副理事長
- 麻布消防団団員、東京都動物愛護推進員、防災士、栄養士、温泉ソムリエ
- 家族：夫、娘（高校生）
- 趣味：琴、ジョギング、温泉めぐり



HP



blog



X



Instagram



Facebook



あべひろこの活動

【NPO法人みなと子ども食堂の活動】

NPO法人みなと子ども食堂は1月で10年目になりました。区内のひとり親で生活が厳しい約200世帯を応援しています。



増上寺でのお米や野菜等の食料品等配布、手作りお弁当の配布、小学生への学習支援。

昨年から毎月2回みな食堂を麻布いきいきプラザで開催。高齢者も300円で一緒に食事ができる場所です。

今年も新学期応援イベントとして、350人に「上履き、文房具、下着、お弁当」を配布。

今年は新1年生に8個の新品ランドセルをプレゼントしました。



皆様の物資等のご寄付をお待ちしております。



みなと子ども食堂

☎080-7960-0207

※現在必要とされる物資は、お米、調味料等です。

利用やご寄付の詳細はこちら



あべひろこの思い

昨年夏の「NPO法人みなと子ども食堂の利用者アンケート」では、食事の回数を減らしているひとり親世帯が目立ちました。一昨年前には、夏に電気代高騰のため、冷房を我慢している家庭がありました。「港区で経済的に厳しい家庭は本当にあるの?」と聞かれることが多いです。私は悲痛な叫びを何度も何度も聞いてきました。物価高でもそこにみあった賃金になっていない方が大半です。子どもたちだけではなく、高齢者の方々、また、全ての世代からの声があります。真に困っている方々を今年も応援していきます。

予算特別委員会の詳細はHPに ➡

阿部浩子

🔍 検索

